

クラブインフォメーション

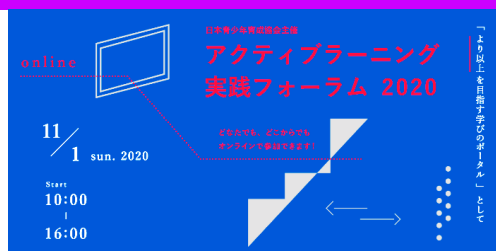


発行:(公財)鳥取県スポーツ協会 〒680-8570 鳥取市東町1丁目220番地 鳥取県議会棟別館内

TEL:0857-26-7802 FAX:0857-26-8133 E-mail:tabuchi-h@sports-tottori.com 令和2年12月 第136号

クラブ紹介コーナー

NPO法人ウルトラスポーツクラブ*アクティブラーニング実践フォーラム2020



ZOOM中
金坂 博さん

令和2年11月1日(日)、日本青少年育成協会主催の「アクティブラーニング実践フォーラム2020」がオンラインで開催され、NPO法人ウルトラスポーツクラブの金坂博さん(クラブマネージャー兼FCアミーゴ監督)が、ポスターセッションで発表しました。

このフォーラムには、全国から述べ400人(小中高の先生、大学・塾の先生)以上の方が参加してこの発表を聞きました。

※アクティブラーニングとは、指導者からの一方的な指導で知識を覚えるのではなく、子どもたちが主体的に参加し、仲間と深く考えながら課題を解決する力を養う、仲間と協力しながら課題を解決するような指導・学習方法の総称です。

※ポスターセッションとは、研究結果などを発表する手段の1つで、発表内容を図やグラフなどを用いてポスターとしてまとめ発表者が各自スペースに待機し、発表テーマに興味を持った参加者がスペースに集まった時点で発表および質疑応答する発表方法です。

当クラブは、人材育成として5年前から指導者・保護者・子ども向けに「教育コーチング」講演会を行っており、自分で考えて行動する能力とコーチとの対話の中から引き出す自己改善技術を学んでいます。

その教育講演会の講師である小山英樹さんから、これまで学んだことで指導者や保護者、子どもたちの行動がどのように変化したかクラブの実践事例を発表してもらいたいとの依頼があり、今回の講師を引き受けられました。

【発表内容】

アクティブラーニング×教育コーチング×サッカー

選手たちが自立し主体的に考え動き、指導者は選手とフラットな関係で適度な距離感で寄り添い、教え過ぎず教えなさすぎず、必要なティーチングとコーチングを上手に楽しみながら使い分ける。上級生が下級生を教え、中学生が小学生を教える、そしてチームとして保育園に巡回サッカー指導を行ったり、「たいいく教室」まで行っている。アクティブラーニングが指導者、保護者、選手、地域に浸透し、チームに関わる全ての人の学びとなっている。

17年前に金坂さんのお子様の入団とともにコーチに就任された際、指導に対する違和感から、当時の指導者と保護者と議論に議論を重ね意見を出し合った。その甲斐あって、今では競技成績の向上だけでなく、子どもの主体性が育ち、コミュニティや協働力が促進され、笑顔で生き生き活動していて「所属満足感」が高いチームとなった。

【参加者の声】

- ・クラブに関わる全ての人の継続的な学びと連携、皆が同じベクトルを向いていることが大切ですが、それが実現できていることに感服です。
- ・子どものスポーツチームの指導で最も難しいところは、指導者の温度差です。
- ・サッカーにとどまらず人間としての成長を引き出していることがストレートに伝わってきました。
- ・もっと多くの方に金坂さんの取組を知ってもらいたいと思いました。

金坂さんの発表は多くの参加者から賛同を得、サッカー以外のスポーツ指導者にも大変参考になった内容でした。
他のクラブにも取入れてもらいたい指導方法ですね。
金坂さんお疲れ様でした。

連絡先
NPO法人ウルトラスポーツクラブ事務局
金坂 博
TEL・FAX:0859-57-5170
E-mail:ultra-cs@sea.chukai.ne.jp

一般社団法人 山陰リンクの会

「トップアスリートバドミントン教室」&「車いすバスケットボール体験会」



バドミントン:試合形式



バドミントン集合写真



シュート練習



楽しいよ!!

令和2年11月21日(土)、県立倉吉養護学校体育館で当クラブバドミントン教室に通う子どもたちを対象に、「トップアスリートバドミントン教室」と、「車いすバスケットボール体験会」を開催しました。

「トップアスリートバドミントン教室」では、小林寛哉さん(鳥取県立布勢運動公園体育指導員:令和元年度開催の茨城国体で成年男子5位入賞)指導の下、アスリートによる技術指導をしていただきました。

シャトルを手で投げたり、取れるか取れないかのギリギリの所へ投げたり、少ししんどいと思う程度の負荷をかけた練習や、しっかりシャトルの下に入れたり、シャトルに追いつけるために必要なフットワークの練習をしました。

子どもたちは、普段とは違う動き方や考え方、今後の練習のやり方などたくさん学ぶことができました。

トップアスリートからの指導や、技を間近で見るとは子どもたちにとって貴重な経験です。

良いものをたくさん吸収して、素晴らしい選手になってください。

小林さんありがとうございました。

「車いすバスケットボール体験会」では、福永幸男さん(鳥取県車いすバスケットボール協会理事長)指導の下、車いすバスケットボールを体験し、障がい者スポーツの理解を深めました。

車いすの操作方法や、ボールの扱い方、簡単なルールの説明の後、大人とゲームをして大変盛り上がりしました。

最初はなかなか上手く車いすを操作できませんでしたが、徐々にコツを掴み上手に扱うことができるようになりました。(子どもの吸収力には驚きです。)

車いすを動かすのも、バスケットボールをするのも初めてでしたが、子どもたちはとても楽しんでプレーしていました。

いろいろなスポーツを通して、障がいのあるなしに関係なく、スポーツを楽しめる環境が増えるといいですね。

※鳥取県車いすバスケットボール協会所属の立岡ほたるさんは、16歳の時「多発性硬化症」という難病を患うまではバドミントンの選手で、杉谷さんの教え子でした。現在は、車いすバスケットボール女子日本代表(U25)で活躍されています。絶望から救ってくれたのはスポーツ(バスケットボール)でした。

一般社団法人 山陰リンクの会事務局
杉谷 哲治
TEL:090-6436-9196
E-mail:sanrink_sugi@yahoo.co.jp



車椅子バスケット集合写真

青谷スポーツクラブ*あおやまるごとスポーツ体験会



トランポリンの上で体ほぐし



ボールを持ってジャンプ



ハム太郎ダンス



ジャンケン対決

令和2年11月7日(土)、青谷町農林漁業者トレーニングセンターで「あおやまるごとスポーツ体験会」として「みんなでジャンプ」ミニトランポリンを行いました。

【県民まるごとスポーツ推進事業とは】

子育て世代の県民が、身近な地域において子どもと一緒に運動・スポーツに親しむ機会、並びに年齢・性別・障がいの有無にかかわらず気軽にスポーツを楽しむ機会を通じて、県民のスポーツへの意識の高揚を図り、本県スポーツ振興に寄与する。

【参加者】

18名(大人10名、子ども8名)

【実施種目】

ミニトランポリン(トランポ・ロビックス)

【指導者】

磯邊栄里さん、浜田香代子さん

【参加者の声】

- ・今回で4回目ですが、参加されるメンバーとも顔見知りになり、同じ子育て世代で楽しく参加させてもらっています。体を動かすことの気持ちよさを改めて知り、今後も継続して運動できたらと思います。
- ・「ミニトランポリン」ととても楽しいです。子どもと真剣に向き合える時間ができるのがいいです。

この体験会をきっかけに、トランポ・ロビックスを定期活動として行っていこうと参加者の意見がまとまりました。

今年度はコロナのためサークルとして活動し、来年度からは青谷スポーツクラブの定期活動として行う予定です。

委託事業はきっかけづくりですが、これが定期教室化へつながり、持続的に活動できれば、事業を企画した側からするととても嬉しいことです。もっと多くの方に、ミニトランポリンの楽しさを知ってもらえるといいですね。

次回は、青谷町農林漁業者トレーニングセンターから、12月20日(日)午前10時からです。

スタッフ一同、お待ちしております!!



集合写真

連絡先

青谷スポーツクラブ事務局

長谷川 和郎

TEL:080-5616-8145

E-mail:k_hasegawa@ncn-t.net

障がい者スポーツ鳥取モデル構築事業(県委託事業)

一般社団法人 山陰リンクの会＊太極拳



足がここまで上がるのはすごい!!



指導者を真似て、突き!



通して動いてみる

令和2年11月14日(土)、県立倉吉養護学校体育館で「障がい者スポーツ鳥取モデル構築事業」※(県委託事業)で「太極拳」を開催しました。

※特別支援学校の学校体育施設を拠点として、特別支援学校の在校生及び卒業生、地域住民が、障がいのあるなしに関わらずスポーツの楽しさを共に味わいながら、体力の向上や豊かな生活の実現、共生社会の実現を目指す。

当日は、倉吉養護学校の在校生・卒業生が19名、地域の方が14名参加し、太田えり子さん(スポーツ推進委員)指導の下、「太極拳」を体験しました。

準備の姿勢(起勢)から始まり、羽を広げた鶴のような動き、膝を払いながら相手の胸を押して進む動き、手を交互に回しながら後退する動き、孔雀の尾を掴む動き、両手を前上方に押し上げる動き等をわかりやすく教えていただき、最後は両手をゆっくりおろし気も沈める終わりの姿勢(収勢)で締めくくります。

何度教えていただいても、手と足の動きがわからなくなり、本当に奥の深い武術です。

最後に、当クラブで「健康・太極拳」教室に参加する会員さんによる演舞も披露され、参加者はその美しい流れるような動きに見入っていました。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で11月と12月の2回だけの開催となり、心待ちにしていただけに残念です。

一日も早いコロナの終息を願うばかりです。

次回は、12月19日(土)、ヒップホップダンスを開催する予定です。

連絡先

一般社団法人 山陰リンクの会事務局

杉谷 哲治

TEL:090-6436-9196

E-mail:sanrink_sugi@yahoo.co.jp

指導者派遣事業研修会を開催しました



研修会風景



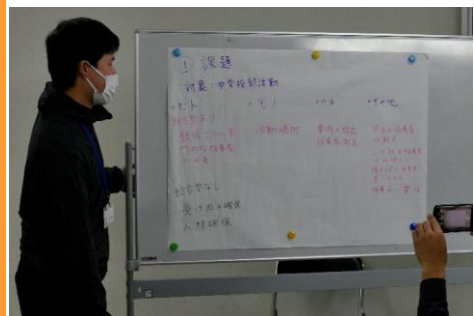
三角ロジック体験ワーク



論理的思考で相手に伝える



ワークショップ



発表:谷田侑真さん

令和2年11月29日(日)、県立倉吉体育文化会館で「指導者派遣事業研修会」を開催しました。

【目的】

総合型地域スポーツクラブが抱える諸問題の解消や、県内指導者の育成、運営の見直しを図り、クラブの持続可能な運営を目指す。

【内容】

I 講演:「総合型地域スポーツクラブの課題と解決のためのヒント」 ～持続可能な総合型クラブを目指して～

講師:松田 雅彦氏(大阪教育大学附属高等学校平野校舎教諭)

□総合型クラブの活動は、地域の学校の生徒会活動をやろうとしていると考えるとわかりやすい。教師(行政)は生徒会(総合型クラブ)運営をサポートし、生徒(住民)の自主性・自発的な参加により行われる部活動(活動)を目指す。

□民間スポーツクラブと総合型クラブの違いは？

民間スポーツクラブはサービスをする人とサービスを受ける人が分断されている。

総合型クラブは、サービスをする人・受ける人が協力し合ってクラブを支えていく。

□子どもの可能性を広げる仕組みづくり。

1種目をやり続けるのも良いが、いろんな遊びを楽しむことで自分に合った種目を見つけることができる。ゴールデンエイジの時期にいろんな遊びを経験させることが大切。複数種目できるのが総合型クラブ。

□学校部活動と地域部活動

令和5年度から移行開始。

運動部活動のガイドラインを遵守しつつ、学校部活動から地域のスポーツ指導者・退職教師等の地域人材が担う体制に移行。

登録・認証制度との関係。

II ワークショップ

テーマ:令和5年度からの学校部活動・地域部活動の課題

□三角ロジック体験ワークで、2人1組になり、相手に論理的思考で伝えてみた。(主張・根拠・論拠をもって相手に示す。)

□参加者を3グループに分け、学校部活動を地域部活動へ移行する際の課題について話し合った。

令和5年度から登録・認証制度や地域部活動が施行されます。行政・学校・地域が一緒になって、担い手の1つとして総合型クラブの役割について考えていかなければいけません。今回の研修会には、今まで参加が少なかった行政担当者の参加もあり、本当に今動かなければ間に合わないということを理解していただけたのではないかと思います。

【参加者】

鳥取市生涯学習スポーツ課	谷田侑真	青谷スポーツクラブ	中原八千代
倉吉市生涯学習課	岩田寿朗	スポねっとちづ	佐々木廣
倉吉市生涯学習課	市下武史	にちなんスポーツクラブ	足羽寛
倉吉市スポーツ推進委員協議会	宇田川誠	日南町体育協会	田辺克文
	小串崇	日南町スポーツ推進委員	山岡由夫
	香川卓也		野口八苗
智頭町教育委員会	石谷潤	江府町剣道スポーツ少年団	遠藤祥将